

6月は食育月間

毎月19日は「食育の日」です。



食育の推進

食べることは生きることであり、健康な身体と心を育むことにつながります。

栄養バランスや食品ロス削減などについて、正しい知識を身につけましょう。

食育を推進する優れた取組を募集します!

第8回 食育活動表彰



6月上旬
募集開始!

持続可能な食を支える 食育の推進

健全な食生活を送るには、持続可能な環境が不可欠です。食育の取組を進めていく中で、食を支える環境の持続に資する取組を推進します。



食と環境の調和：環境の環（わ）

食生活が自然の恩恵の上に成り立つことを意識し、食の循環が環境へ与える影響に配慮して、SDGsの目標12「つくる責任・つかう責任」へのコミットが求められています。このため、有機農業に対する理解増進、食品ロスの削減など、環境と調和のとれた食料生産とその消費に配慮した食育を推進します。

12 つくる責任
つかう責任



SDGs 目標12
「つくる責任・つかう責任」



農林水産業や農山漁村を支える多様な主体とのつながりの深化：人の輪（わ）

食料の生産から消費等に至るまでの食の循環は、多くの人々の様々な活動に支えられており、そのことへの感謝や理解を深めることが大切です。

一方でライフスタイル等の変化により、日頃の食事を通じて、田んぼや畑や生産者を思い浮かべる機会が減っています。このため、農林漁業体験や地産地消の推進など、食の循環を担う多様な主体のつながりを広げ深める食育を推進します。



農業生産者



日本の伝統的な和食文化の保護・継承：和食文化の和（わ）

和食文化を守り、伝えることは、食生活の文化的な豊かさを将来にわたって支える上で重要であるとともに、地域活性化や食料自給率の向上につながるなど持続可能な食に貢献することが期待されています。また、和食は栄養バランスに優れ、長寿国である日本の食事は世界的にも注目されています。

一方、グローバル化などにより、和食文化が十分に受け継がれず、その特色が失われつつあります。このため、伝統的な地域の多様な和食文化を次世代に継承するための食育を推進します。

これらの持続可能な食に必要な、環境の環（わ）、人の輪（わ）、和食文化の和（わ）の3つの「わ」を支える食育を推進します。